

2017 (H29) 年度

事業計画書

2017 (H29) 年 4 月 1 日 ~ 2018 (H30) 年 3 月 31 日



社会福祉法人

神愛会



社会福祉法人神愛会
2017年度 事業方針・計画

《神愛会の理念》

「キリストの愛を以って互いに仕える」

「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と言われたイエス・キリストの戒めに従い、キリストと同じ愛を以って、助けを必要とするすべての人のために奉仕します。

《神愛会の使命》

神愛会は、「キリストの愛を以って互いに仕える」ことを基本とし、すべての人が個人として最大限に尊重され、人生の最後の瞬間まで尊厳をもって生きることができるよう、あらゆる努力を継続して一人一人の自律した生活を支えます。

《事業方針》

1. 常に神愛会の理念に立ち返り、利用者本位のサービスに努めます。
2. 利用者の豊かな生活を支援するため、常にサービスの質の向上に努めます。
3. 福祉専門職としての資質向上を目指し、常に自己の研鑽に努めます。
4. 地域に開かれた事業を進めるため、様々な人々と連携に努めます。

《事業計画》

— 「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。 —

【丁寧】 注意深く念入りであること
細かい点にまで注意が行き届いていること
動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

1. 理念の継承
 - ① 神愛会の基本理念・使命を継承する活動を進めます。
2. サービスの質の向上
 - ① 特別養護老人ホーム（ショートステイ）では、認知症のケア、看取りのケアを向上させ、入居者・利用者の生活を支えます。ショートステイの利用を拡大します。
 - ② デイサービスセンターでは、参加者の増加と、多様化する在宅生活ニーズへの対応を目標として取り組みます。
 - ③ 深和ホームでは、新規入居者の獲得と、入居者の希望による遺言や後見などの支援に取り組みます。
 - ④ 居宅介護支援事業では、ケアマネジメントを通じて地域包括ケア推進に向けた役割が果たせるよう、積極的に取り組みます。

⑤ 地域における公益的な取り組みを検討し、実施します。

3. 職員の資質の向上

- ① 園内研修内容を更に充実させ、効果的な職員研修を実施します。
- ② 介護福祉士他専門資格の取得を支援します。

4. 地域の人々との連携

- ① ボランティア活動を充実させます。
- ② 後援会、家族の会との協働を充実させます。
- ③ 地域貢献事業の展開のため、介護職員初任者研修を開催します。

5. 岩田旧施設の整理

- ① 岩田旧施設整理のための検討を進めます。

2017年度 法人本部 事業計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)
1 理念の継承	①理念・使命の継承 i 職員における理念の浸透・継承	i 年間を通じて採用時研修において	i 新採用者オリエンテーション 理念・沿革を学ぶ研修 朝の祈りの継続 聖社連大会への参加	i 聖マリア院の活用 日曜礼拝への参加 聖公会に連なる社会福祉事業を学ぶ
2 サービスの質の向上	①地域貢献事業への取り組み i 社会福祉法人の地域貢献活動への取り組み	i 介護職員初任者研修の開講検討 ii 権利擁護に関する講演会等の開催検討	i ii 本部事務局で検討・準備	i 慎重なニーズ調査による検討・準備
	②認知症ケア・看取りケア i 実践的な認知症ケアの導入 ii ユニットリーダーの育成 iii ユニットケアの進展	i 認知症介護実践者研修 ii ユニットリーダー研修 iii ユニット活動計画の実施	i 認知症介護実践者研修 ii ユニットリーダー研修 iii ユニット会議で	i・ii 参加者によるフィードバックの実施 iii 期中での進捗状況点検
3 職員の資質向上	③設備維持・防災 ・防災訓練の充実 ・防火管理者資格取得 ・緊急呼び出し訓練	・防災訓練(年2回)の実施(初期消火・避難誘導) ・介護職員 2～3人 ・毎年1回実施	・上富田消防署及び防火管理者による消火器・消火栓取扱指導説明 ・防災訓練の見直し ・甲種防火管理者講習への参加 ・緊急連絡網による呼び出し訓練の見直し及び実施	・行動作成及び詳細説明 ・消火器及び消火栓の基礎的説明、実地訓練 ・役割担当職員を対象に事前説明を実施 ・参加者の呼びかけ及び事前申し込み ・呼び出し訓練日の予告
	①研修の見直し・充実 i 新人研修の充実 ii 新人介護職研修の充実 iii 職員研修の充実 iv 研修講座の地域への開放	i 採用後1週間以内の基礎研修 ii 採用後1か月以内の介護基礎研修と1年間のOJT研修によるフォローアップ iii 分野ごとに相応しい研修が受講できるように研修を細分化し、それらに到達目標を設定 iv 各月程度の割合で法人で開催する研修の一部を地域の介護関係者に開放	i 施設長・管理者・事務長 ii 介護主任・副主任・実習指導者・ユニットリーダー iii ケアワーカーおよび事務方スタッフなどにおいては、年間3回程度事前および事後課題を含めた研修を行い、参加者自身の能力を覚知するとともに、それより高い能力の獲得を目指せるようにする。調理スタッフについてはより良い食事の提供に向けた実習を加える iv 研修担当者が研修を企画し、法人内外の介護関係者に有益な講師を調整	i 施設長・管理者・事務長 ii 介護主任・副主任・実習指導者・ユニットリーダー iii ケアワーカーおよび事務方スタッフなどにおいては、年間3回程度事前および事後課題を含めた研修を行い、参加者自身の能力を覚知するとともに、それより高い能力の獲得を目指せるようにする。調理スタッフについてはより良い食事の提供に向けた実習を加える iv 研修担当者が研修を企画し、法人内外の介護関係者に有益な講師を調整
	②研修参加と資格取得 i ユニットリーダー研修 ii 権利擁護推進員研修 iii 認知症介護実践者研修 iv 介護福祉士実習指導者研修 v 介護福祉士・介護支援専門員資格取得	i ~ iv 年間を通じて v 試験対策として	i 前期・後期各1名の参加申請 ii ~ iii 和歌山県主催研修に参加 iv 介護福祉士会研修に参加 v 個別学習の援助 勉強会の開催 模擬試験への参加	i ~ iv 外部研修情報の提供 職員の興味・関心を重視した参加者の選考 参加者によるフィードバックの実施 v 受験資格者への働きかけと費用負担を含むサポートを実施

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)
4 地域との連携	①ボランティアの充実	年間を通じて	i 送迎の継続 ボランティア向け研修の実施 iii ボランティアの集いの実施	iii ボランティア参加者の意向を尊重した集いや研修の開催
	②後援会・家族の会との連携	i 年間を通じて ii 敬老の日	i 両会の事務局を担当	i 会報・会合の充実 ii 催しの計画を早期に開始
5 旧施設整理	①旧施設整理の進展	年度内の計画策定	本部事務局において検討	i 跡地活用のため上富田町との相談

B. 主要月次計画

	4月	5月	6月	7月
上旬	1日 全体職員会		家族の会役員会 後援会役員会	
中旬	職員健康診断 消防設備点検		評議員会	近畿老協研究大会
下旬		理事会		
	8月	9月	10月	11月
上旬			緊急呼出訓練(生馬)	3日 逝去者記念礼拝 建築物定期検査
中旬			聖社連大会(三重) 消防設備点検	理事会
下旬		30日 創立記念日 昼間想定防災訓練(生馬)		評議員会
	12月	1月	2月	3月
上旬				理事会
中旬	職員忘年会		ボランティアの集い	評議員会
下旬	25日 クリスマス礼拝・祝会			夜間想定防災訓練(生馬)

2017年度 特別養護老人ホーム(ショートステイ) の課題・目標

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 取組課題

	事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるための具体策
2 サー ビス の 質 の 向 上	①認知症ケア、看取りケアの充実	ユニット毎に認知症ケア、看取りケアについてのカンファレンスを綿密に行う 看取りにおいても、医師からの指示により、迅速に対応していく。 入居者の権利擁護を図り、快適な入居生活を支援する。	通年	新しい様式によるケース記録の活用 家族との連携を密にし、本人・家族の意向を確認する 各部署間の連携を図り、的確な相談援助や緊急時の対応等が出来るよう業務にあたる。	ケース記録を活かし多職種との連絡・連携を密にする。 看取りの振り返りカンファレンスを実施する。 入居契約の際に、相談苦情への受付窓口の説明を徹底する等の丁寧な対応を行う。
	②医療・機能訓練の充実	入居者・利用者の早期異常発見 誤投薬の予防 安全・安楽のための環境整備 ケアプランに沿った個別機能訓練の提供	通年・随時	異常の早期発見のため観察から報・連・相の徹底 複数の目での確認を徹底 個別の課題の発見と対応 カラオケ・テレビ体操・やまびこ会・マリア会等、楽しさを伴う種目を提供 居室を訪問し可動域訓練を実施	相談記録として写真等のデータを活用する。 常に冷静な判断と行動に徹し、疑問や不具合を後に残すことのないよう理解の徹底を図る。 機能訓練指導員と介護職員との分担により、より個別的な機能訓練メニューを実施する
	③食生活の充実	個別ケアの提供 給食における衛生管理の徹底 新しい献立の採用	通年 通年・随時 毎日 通年	各部署と連携を密にし個別のニーズに即した食事を提供する 調理室内を常に清潔に保つ 毎朝の衛生チェック励行 調理実習による	・個別のニーズに柔軟に対応する ・申し送りを徹底する ・午前・午後の業務終了後の盛り付け台、冷蔵庫取っ手等へのアルコール噴霧 ・シンク、調理台、冷蔵庫の取っ手等の汚れを随時除く。 ・月1回の大掃除の励行 ・体調の自己管理に努める 他部署への試食提供と意見聴取
	④家族への情報発信	入居者、家族への生活情報等の提供	毎月1回 随時	愛の園ニュースを毎月発刊する事により、各月のタイムリーな入居者生活や参加する行事の紹介を行う。 ホームページ・フェイスブックによる情報発信を継続する。	記事と共に写真を多く掲載し生活の豊かさ楽しさが伝わるよう工夫する。
	⑤社会資源としての施設の有効活用と利用者の獲得	退居後の空室期間を可能な限り短縮し、資源の活用を図る ショートステイ利用者の増加	通年 年間利用者目標5500名	入退居手続きを迅速に行い、空室が続くことを防ぐ 居宅介護支援事業所向けに空室情報をFAX送信と訪問を継続する。 県老協のショートステイ空室情報WEBを活用する	新規申込時の面接、待機者情報の更新を毎月行う。 空室情報の精度と配布の頻度を高める 利用者、居宅介護支援事業よりサービス向上のための意見を聴取する 送迎時刻の連絡を励行する 忘れ物をなくす取り組みを強化する。

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 取組課題

	事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるための具体策
3 職員の 資質向上	①研修の見直し・充実、資格取得	内外の研修等に積極的に参加し、資質の向上を図る	通年	・近畿老協研究協議会、看護協会、ユニットケア研究会などの外部研修に参加する。	職員個別の課題と意向を把握し、資質の向上に資する研修の選択と報告の徹底を図る
		医療の知識・技術の向上を図る	通年	症例検討会の実施	情報共有のスキルアップとチームワークの向上を図る
		食事献立の充実と調理技術の向上を図る	通年	調理職員による実習	調理職員により検討し様々な食形態に対応する献立とする
		介護福祉士、介護支援専門員等の専門資格を取得する	通年	資格取得のための情報提供と、介護職員実務者研修・国家試験模試等への支援を行う	資格取得を目指す職員に、関係する講習会・模擬試験等の情報を提供し、併せて受講・受験時の勤務シフトの配慮、費用の助成等の支援を行う。
4 地域との 連携	①ボランティアの充実 ②家族の会、後援会との連携	ボランティアを行いたい人と施設との橋渡し役として積極的にボランティアを受け入れていく。	通年	・愛の園ホームページなどを使用して積極的にボランティアを募集する。 ・ボランティア活動のための備品整備や送迎により、ボランティア活動を支援する。	各ボランティアの代表者と連絡を保つ。 愛の園でのボランティア活動が円滑に行えるように、必要物品の購入や車を運転できない方の送迎支援等を行う。
		家族の会や後援会が行う活動との連携を図り、支援をしていく。	通年	後援会、家族の会の事務局業務を行う	家族の会・後援会役員等との連携を密にし、より良い運営が出来るよう支援する。 家族の会・後援会の会報を年2回発行し長期入居者ご家族への活動の紹介と勧誘を積極的に行う。

B. 主要予定

	4月	5月	6月 食中毒予防強化月間	7月 食中毒予防強化月間
上旬		入居者定期健診		七夕飾り
中旬		ウエスタンリーグ観戦	家族の会・後援会役員会	
下旬		春の遠足		夏の模擬店
	8月 食中毒予防強化月間	9月 食中毒予防強化月間	10月 食中毒予防強化月間	11月
上旬	夏祭り			運動会
中旬		敬老の日「一日我が家」祝膳	秋の遠足	
下旬		創立記念日	岩田幼稚園運動会観覧	
	12月 感染症予防強化月間	1月 感染症予防強化月間	2月 感染症予防強化月間	3月 感染症予防強化月間
上旬		祝賀朝礼 正月祝膳(お節)	節分豆まき	雑祭り祝膳
中旬				
下旬	クリスマス礼拝・祝会・祝膳 餅つき			

2017年度 ユニット活動計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】 注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

U	今年のテーマ	改善に取り組む内容 (課題・実施時期・進め方など)	丁寧に実施していくための具体策 (方法・心掛け・目安など)	希望する研修
1	1 統一した個別ケアの徹底	① ユニット職員同士・他部署との連絡・報告・相談の徹底	① 入居者の状況を職員一人一人把握し共有する。 ② 入居者の状況変化を口頭での申し送り・PCでの申し送りを徹底し常に改善していく。	
2	1 チームケアの向上	① 感じた事や、思った事を、共有、相談出来るユニット作り。 ② 申し送りノートの活用。	① 人任せにせず、積極的に業務にあたる。 ② 個々の職員の意見や考えを最後まで聞く。	
3	1 すべての業務において「ていねいに」行う。	① 入居者様の様子(身体面・体調面)など気づいた事など申し送りなど、ユニット間はもちろん他部署にもしっかり伝達出来る様に努める。 ② コミュニケーションをはかり協調性を持つ。 ③ 毎月のユニット会議実施。	① 報告や相談を受けた時、しっかり理解し把握しているかお互いに確認しあう。 ② 申し送りノートの活用と疑問に思った事はそのままにせず、話しあう。 ③ 他部署、ユニット間の意見交換の場を有意義に出来る様、各担当で入居者様の様子を話し、ユニット全体の方向性を話し合い、意見交換する。	
4	1 多職種連携のもと、個別ケアを支援する。	① 個々の意向や状況に応じて、支援する。 ② 24時間シートをもとにケアの見直しを定期的実施。	① 申し送りメモを活用し、他部署との連携を密にする。 ② 職員1人1人が現状を把握し、ユニット内で情報を共有し合える雰囲気づくりを心掛ける。 ③ 個々の意向や状況に応じて、24時間シートに記録する。記録後、ユニット会議で意見交換し、ケアを統一する。	
5 ショート	1 職員のステップアップ(ケアの知識・技術の向上)	① 3年～5年の職員のなか向上心が見られない。職員個々に責任感を持ってもらう。介護の質の向上。	① 日勤帯職員をその日のユニット当番として、業務の流れ、利用者の方の対応など責任を持つようにしていく。	
6 ショート	1 ユニット職員の連携ケアの統一	① 申し送りノートの活用 ② 職員同士の積極的な意見交換	① 個々の職員が、利用者に統一したケアを提供出来るよう、責任感を持ち業務にあたる。 ② 職員間で立場に関係なく、改善すべき点を注意・アドバイスしあえるよう、信頼関係を築く。	
7	1 入居者1人1人のケア内容の把握 2 ユニット職員の連携、他部署との連携と早めの報告 3 入居者に合わせた1日の業務	1 ユニット職員が、入居者のケアの把握を行い、日々の業務に努める。 2 入居者の変化にいち早く、ユニット職員が気づく事。 3 職員(自分)仕事をするのではなく、入居者1人1人に合わせる。	1 申し送りノートの確認。職員同士のコミュニケーション。 2 ユニット職員同士のコミュニケーション(話し合い)、それを、いち早く他部署(NS、ケアマネ、主任)に報告し対処する 3 段取り仕事をせず、入居者に合わせたケアを行う	

2017年度 ユニット活動計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】 注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

U	今年のテーマ	改善に取り組む内容 (課題・実施時期・進め方など)	丁寧に実施していくための具体策 (方法・心掛け・目安など)	希望する研修
8	1 入居・退去時のケアの充実	<p>①・入居時…自宅・入院先等からスムーズにケアが移行できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居時に前もって渡されるフェースシートをよく読み込み、そこから浮かび上がる人物像から、入居前に準備すべき物品や、居住環境を整えます。 ・入居後暫くは『身体的な事』『気持ちの事』『環境の事』について、モニタリングを行い、情報収集に努めます。 ・得られた情報はユニットスタッフだけでなく、医務室等の関連部署に報告し、より深い分析の元にケアを組み上げて行くようにします。 <p>②・退去時…特に看取りケアについて、入居者お一人ずつに適したケアを行えるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取りケアについては、「今日から」「明日から」と普通のケアと明確な区切りはありませんが著しい体調変化には迅速に対応し、少しでもご本人の苦しみを取り除けるよう、また、ご家族が納得できる看取りのお手伝いをします。 	<p>①・スタッフは各自フェースシートをよく読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間で得られた情報をよく話し合い、入居者の人物像を共有する。 ・入居前に準備できる物品を居室に用意する。一人の職員だけで準備するのではなく、全員が関わり、いろんな視点で考える。 ・入居後、不足物品が無いかモニタリングを通して考え、随時補充していく。 ・必要性を感じる医療物品は医務室に確認し、即時に補充する。 <p>②・普段の様子をよく観察し、些細な変化を見逃さない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得られた情報はスタッフで共有し、その一歩先を予測しケアに当たる。 ・看取り経験の少ない職員には、ベテラン職員が段階を踏んで指導する。 ・看取りに関するご家族の意見をよく聞き取り、即時にスタッフ間で共有し、必要物品などを揃える。 <p>①②共通して迅速に行う事。</p>	
9	1 ユニット職員同士の連携、また他部署との連携にも努める。	<p>① ユニット職員同士においては、人任せにせず、個々の職員が積極的に問題解決に取り組む。</p> <p>② 体調に不安のある職員は、体調管理の徹底。</p>	<p>① 立場に関係なく、相談し合える環境づくりを目指す。</p> <p>② 新人職員も意見が出せるように、コミュニケーションを大切にします。</p> <p>③ 他部署とは、それぞれの職域を超えず、それぞれの職の立場から、意見を出し合う。</p>	
10	1 考える力を養い一つ一つの支援に対して各自が責任を持って業務に取り組む	<p>① 毎月のユニット会議で各ユニット職員が取り組みたい内容を話し合い、その中で1月のユニットプランで実施する内容を決めて取り組む</p>	<p>① 毎月提案する人が限られないように、ユニット会議で各職員の意見を一人ずつ聞き毎月の取り組む内容が偏らないようにする。また各職員が主体となって計画実施まで1度は行う。</p> <p>② 提案を立てた職員が主となって実施できるように勤務調整を行う。また実施する内容によって主となる職員が実施日に自由に取り組めるように他の勤務職員がサポートする。</p>	
11	1 職員間の連携と情報共有	<p>① 申し送りノートの活用、職員同士の積極的な意見交換</p>	<p>① 意見交換がしやすいユニットづくり</p>	

2017年度 デイサービスセンター 事業計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)
1 理念の継承 地域ニーズに即した事業の推進	①地域・家族への情報発信・相談援助の機会を増やす ②地域の中での社会福祉事業としての位置づけを理解する	通年	①外部への情報の発信と家族や地域の方の見学・訪問の機会を増やす。 ②現場スタッフのケースカンファレンス参加 スタッフの対人援助の能力を向上	現場スタッフのケースカンファレンスへの参加を増やし本人家族の思いを直接現場に取り入れる形を推進する。 地域に向けてイベントや見学をPR 家族参加のできる研修・見学会を開催
2 サービスの質の向上 事業運営の安定 通所介護計画に沿ったサービス提供	新規顧客の獲得 稼働率の向上 通所介護計画の周知徹底	年間 5000人以上の利用 通年	①プログラムの充実 ②ご家族・地域との結びつきを強化し、デイ新聞などを通して居宅事業所・ご家庭に通所時の様子や定員の稼働状態を継続して報告。 ③送迎対応エリアの再検討 ケアプランの策定、検討の機会を頻度を増やす 全員が同じ方向性を持って個別ケアに対応する。	プログラムの充実を図り、参加者にとって魅力のあるデイサービスに。 地域との結びつきの強化 個々の移送技術を向上し現在の送迎体制を再検討。送迎対応エリアの拡大を検討。 現場スタッフのケースカンファレンスへの参加を増やす ケアプランを検討する頻度を密にし、個別の生活背景・要望・ニーズ・目標等を理解した上で個別ケアを行う事が出来る体制作りを目指す。
3 職員の資質向上 認知症介護への取り組みと家族支援 業務の標準化	相談援助の充実と地域のニーズの掘り起こし。 通年	認知症実践者研修1名 部署内での認知症に関する研修(随時) 業務マニュアルの更新 部署内会議にて検討	部署内・外部研修を活用し、認知症に関しての正しい知識を得る。 送迎時や訪問時にご家族に適切な相談・援助を行える姿を目指す。 業務マニュアルの再編を部署内会議にて全員で検討 一般の介護マニュアル・サービス規程・運営規定等と照らし合わせながら事業所のマニュアルを再構築する。	地域の中での介護施設の役割を理解できるような研修を取り入れ総合的に援助を行える体制を目指す。 慣例として引き継がれたケアの行い方を、今現在のスタンダードや法改正に対応した事業運営に近づける作業を全員で行う。 自ら考えて顧客一人一人に合ったケアを作り上げる能力を向上させ、エビデンスに基づいたサービス提供へと近づける。

B. 主要月次予定

	4月	5月	6月	7月
上旬	花見			とれとれ市場
中旬		新緑ドライブ 新庄公園	花壇 花植え	
下旬				
	8月	9月	10月	11月
上旬				
中旬	夏祭り	敬老の日	コスモス畑 外出	
下旬				紅葉ドライブ
	12月	1月	2月	3月
上旬		初詣 闘鶏神社		
中旬			梅見ドライブ	菜の花畑
下旬	クリスマス会			

2017年度 居宅介護支援事業 事業計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)
1 理念の継承	①理念・使命の継承 神愛会の理念に則り、居宅において最期のときまで個人が尊重され、自律した生活ができるように生活を支えていく。	居宅介護支援事業所における特定事業所加算の要件にある事業所内で概ね週1回開催する定期的な会議で、毎月1度はこれらの理念を確認する。	管理者が事業所内の会議において、神愛会の理念と介護支援専門員の倫理綱領の親和性が高いことを確認しながらそれぞれが関わる事例の方向性なども踏まえて深く思考できるようにする。	利用者に対する支援について倫理性が高まれば結果として丁寧なケアマネジメントプロセスが行われるわけでありその実現に向けた介護支援専門員個々の質の高い対人援助と業務マネジメントを志向する
2 サービスの質の向上	①地域包括ケアの推進 上富田町で開催される地域ケア会議を地域包括ケアを推進するエンジンとして機能させるためにその開催意義を理解したうえで積極的に協力していく。	毎月1回開催される上富田町地域ケア会議に必ず参加し事例検討などを通して参加する他の専門職などと共に地域課題を明らかにしていく。その結果、生活のしづらさを抱えた人であったとしても安心して生活できる地域が実現できるように積極的に取り組んでいく。	上富田町地域ケア会議において、事業所として個別事例の提出はもとより、主任介護支援専門員が中心となって検討される事例の分析を行い具体的な解決策の模索とかかわる介護支援専門員の支援、そしてその過程で明らかになる地域課題の抽出と分析をすすめる	上富田町地域ケア会議は地域課題を明らかにし、様々な事例にかかわる介護支援専門員の支援を行う会議体であるが、その役割が丁寧に実行されるためには会議の構成員の意識の醸成が欠かせない。この事にも着目して特に主任介護支援専門員の働きを促す
	②田辺西牟婁地域における医療介護連携の推進 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会への直接的な協力を行う。	週2回程度一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会の相談および研修事業について協力していく。	崎山が田辺市医師会事務局に併設する左記進める会への直接的な協力を行う。	左記進める会での相談、研修事業を丁寧にやる事で、田辺圏域の医療と介護の連携がより良く深まり、患者、利用者の生活に寄与できるようにする。
3 職員の資質向上	①研修の見直し・充実 ①和歌山県介護支援専門員協会主催の研修への参加 ②田辺西牟婁地域で開催される、医療、介護、社会福祉関係の研修への参加。 これらは主任介護支援専門員更新のためにも必要	①ケアマネジメントの専門性を高めより良い支援が行える力をつけるために積極的に研修へ参加する。 ②和歌山県介護支援専門員協会のメールマガジンの研修案内等を参考に研修情報を収集しより適切で効果的な研修が受講できるようにする	介護支援専門員それぞれが業務マネジメントを精密に行い、できるだけ効果的な研修に参加できるようにする。	研修に参加した成果を事業所内および場合によっては上富田町地域ケア会議において丁寧に共有し、事業所全体の資質向上につながるようにする。
	②研修参加と資格取得 ①介護支援専門員指導者レベルの研修への参加 ②近畿介護支援専門員研究大会in滋賀への研究発表を上富田町地域ケア会議の構成員とも協力しながら実現する	①左記の研修に参加した上でその研修の到達目標に沿った力が養われる。 ②上富田町地域ケア会議において研究テーマとそれを実現するプロセスを協議し昨年より良い研究発表にできるようにする	①崎山、藤井が主任介護支援専門員の更新となるためその更新プログラムに真摯にとりくむ。 ②主任介護支援専門員が具体的な研究発表ができるように、上富田町地域ケア会議構成員と協働で準備をすすめる。	研修に参加した成果を事業所内および場合によっては上富田町地域ケア会議において丁寧に共有し、事業所全体の資質向上につながるようにする。

B. 主要月次予定

	4月	5月	6月	7月
上旬	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)
中旬	上富田町地域ケア家会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア家会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア家会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア家会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会
下旬			日本ケアマネジメント学会in名古屋への参加	ソーシャルワーカーへの参加 主任介護支援専門員更新研修へ参加
	8月	9月	10月	11月
上旬	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)
中旬	上富田町地域ケア家会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア家会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア家会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会	上富田町地域ケア家会議 一般社団法人田辺圏域医療と介護の連携を進める会
下旬	主任介護支援専門員更新研修へ参加	主任介護支援専門員更新研修へ参加		
	12月	1月	2月	3月
上旬	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)	利用者情報やサービス提供上の留意事項の伝達等を目的とした会議(毎木曜日)
中旬	上富田町地域ケア家会議 田辺圏域保健医療介護の連携体制構築をすすめる会	上富田町地域ケア家会議 田辺圏域保健医療介護の連携体制構築をすすめる会	上富田町地域ケア家会議 田辺圏域保健医療介護の連携体制構築をすすめる会	上富田町地域ケア家会議 田辺圏域保健医療介護の連携体制構築をすすめる会
下旬			近畿介護支援専門員協会研究大会in滋賀への参加	

2017年度 深和ホーム 事業計画

「丁寧さ」をキーワードにそれぞれの事業の充実を目指します。

【丁寧】注意深く念入りであること 細かい点まで注意が行き届いていること 動作や言葉遣いが礼儀正しく心がこもっていること

A. 事業計画

事業計画	取組課題	目標 (回数・期間・分量など)	方法 (担当・仕組みなど)	「丁寧」であるために (質を高める具体策)
1 理念の継承	キリスト教精神に基づいて運営されている施設である事の自覚をもって業務にあたる。	年間を通して。	朝のレポートで各部署の1日の業務を共通理解する。 申し送り事項の把握・対応。	各自の使命感の自覚。
2 サービスの質の向上	新規入居者の獲得	空き部屋をいつでも利用出来るようにしておく。 PRの方法を考慮、検討する。 環境整備(引き継ぎ)	年間を通して。 希望するタイプの部屋で体験入居して頂く。 旧愛の園の取り壊しも視野に入れておく。 ホーム周辺の草刈、剪定等継続。(自分達で行える事は出来るだけ自分達で行う。) 行事などの案内の送付。	おもてなしのこころで迎える
	体験入居者への対応	PRの方法を検討する。	年間を通して。 新しいパンフレットの作成 ふれあい行事(毎月行っている入居者の方々のお菓子作りや外出など)	体験入居の方を事前に紹介しホーム全体でおもてなしの心で迎える。
	重要機器 (防犯受信機・ナースコール)設備の交換	機器の老朽化が目立ち緊急時に作動しない危険性も考えられる。	年間を通して。	1業者だけでなくいくつかの業者で検討コスト削減。
3 職員の資質向上	園外の研修への参加	個々の部署にあった研修	年間を通して。 研修案内を皆が確認する。事務所内に掲示。	自己の意識改革。

B. 主要月次計画

	4月	5月	6月	7月
上旬	春の遠足			
中旬	ふれあい行事	ふれあい行事	ふれあい行事	ふれあい行事
下旬				
	8月	9月	10月	11月
上旬		ふれあい行事		
中旬	ふれあい行事	敬老の祝膳	ふれあい行事	ふれあい行事
下旬				
	12月	1月	2月	3月
上旬		元旦の祝膳		ひな祭りの祝膳
中旬	クリスマスイブの祝膳	ふれあい行事	ふれあい行事	ふれあい行事
下旬				